

都市構造再編集集中支援事業事前評価シート

計画の名称:東地区

事業主体名:岩見沢市

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①都市再生基本方針との適合等	
1)まちづくりの目標が都市再生基本方針と適合している。	レ
2)上位計画等と整合性が確保されている。	レ
②地域の課題への対応	
1)地域の課題を踏まえてまちづくりの目標が設定されている。	レ
2)まちづくりの必要性という観点から地区の位置づけが高い	レ
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等	
1)目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	レ
2)指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	レ
3)目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	レ
4)指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	レ
5)地域資源の活用はハードとソフトの連携等を図る計画である。	レ
④事業の効果	
1)十分な事業効果が確認されている。	レ
2)事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	レ
III. 計画の実現可能性	
⑤地元の熱意	
1)まちづくりに向けた機運がある。	レ
2)住民・民間事業者等と協力して計画を策定している。	レ
3)継続的なまちづくりの展開が見込まれる。	レ
⑥円滑な事業執行の環境	
1)計画の具体性など、事業の熟度が高い。	レ
2)交付期間中の計画管理(モニタリング)を実施する予定である。	レ
3)計画について住民等との間で合意が形成されている。	レ